

# 札幌社保協 FAXニュース

2010年10月19日(火)  
社保協事務局 発行  
TEL823-0867 Fax821-3701  
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp  
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期  
高齢者110番は  
10月28日です

## 子どもを**商品**にしないで!

### 札幌保育連 署名とパレードで訴え

札幌保育連は16日午後、三越前で国や自治体に保育制度の改悪反対・子育て支援を求める署名行動と、子育てウォーキング(パレード)を行いました。

行動には市内の11園から保育労働者と父母ら100人以上、子どもも40人以上が参加しました。高校生たちが署名をしてくれたり、黄色の風車やプラカードを持ってパレードをしていると、沿道から多くの人が手を振ってくれたり、注目を集めました。

署名は1時間余で947筆集まりました。初めて行動に参加した母親は、「自分が参加することで周りの人にアピールできて良かった」と話していました。

#### 「子育て新システム」で保育の営利化市場化を促進

自民党時代から進められている保育の改悪は、民主党政権になっても促進されています。「地域主権改革」では保育が改悪の先頭に立たされ、保育の国による最低基準が取り払われようとしています。また、「保育の介護保険化」で、保育必要度の認定や、事業所との直接契約、民間企業への大開放も行われようとしており、子どもたちが儲けの対象にされようとしています。



社会保障の再生をめざして  
前参院議員  
**小池 晃 講演会**  
10月22日(金) 18:30  
自治労会館 4階ホール  
参加費 五〇〇円

## 「老齡加算」の復活を!

### 生存権裁判を支援する会が総会

生存権裁判を支援する北海道の会4回総会が、16日午後白石区内で開催され、会員や支援者50人が参加しました。

裁判とたたかいの力で今年母子加算の復活を勝ち取り、今年は全国の運動に連帯して、生活保護老齡加算を復活させようと、総会では3人の高齢者が自分の体験を語りました。

◆白石区のAさんは、かつて1万8千円ほどあった加算がなくなり、夫婦2人で月約11万円での生活です。特に食費が大変で、高いものは買えず節約しながらの暮らしです。知人が亡くなることも多くなりましたが、香典も出せず、人間として恥ずかしい、と語りました。

◆西区のHさんは、低い年金で入院して保護を受けるようになったこと、室蘭で親戚が亡くなった時に葬儀に行くお金がなく、苦労したことを話しました。

#### 老齡加算復活に全力で取り組もう

支援する会三浦事務局長(道生連会長)は、「朝日訴訟」の意義が強調され、福岡高裁で勝利判決が出たこの時期に、老齡加算復活に向けて大いに奮闘しようとする方針を提起しました。



開会あいさつで青木 紀代表(北大名誉教授)は、「社会的な行事に参加するにはお金がかかる、お金がなく参加できない人のことを考えなければならない。つながり、絆を言うだけではなくお金の話が大事ではないか。そのことを言う意識的な人が必要で、続けることが大事」と述べました。